

## 貸借取引情報のご活用方法について

日本証券金融株式会社  
貸借取引部

当社は、貸借取引情報サイト (<https://www.taisyaku.jp/>) において、貸借取引に関する各種情報を公表しております。

当社の公表する情報には、制度信用取引を取扱う金融商品取引業者等（貸借取引参加者）からの申込みを集計した「貸借取引残高」のほか、貸借取引残高において貸株超過が発生している場合に行う品貸入札によって決定した「品貸料率」など、株式の需給を表す代表的な情報がありますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

### <主な活用方法の例>

- ・ 信用取引残高は、将来的に手仕舞われるものであり、今後の個別銘柄の需給関係を表す代表的な指標となります。信用取引残高のうち、「制度信用取引残高」については、毎週末、すべての銘柄の残高が公表されておりますが、「貸借取引残高」については、当社が、毎営業日、すべての銘柄の残高を公表しておりますので、制度信用取引残高の動向を窺い得る速報性のある情報としてご活用ください。
- ・ 品貸料率（逆日歩）が高騰している銘柄は、制度信用取引の売り方に手仕舞いを促す要因となりますので、個別銘柄の足元の需給関係を表す指標となります。特に制度信用取引の売りを行った際には、品貸料率の動向をタイムリーにご確認いただき、投資判断にご活用ください。
- ・ 品貸料率（逆日歩）の状況や、貸借取引の融資残高・貸株残高を合わせた取組状況のバランスや偏りなどを用いて、株価モメンタム予測などにもご活用ください。

### <データ概要>

#### (1) 『品貸料率一覧表』

頻度：毎営業日 10：40頃

データ形式：CSV ファイル

内容：

項目	内容	例
貸借申込日	売買約定日となります。	20230401
決済日	売買約定日から起算して 2 営業日後の売買決済日となります。	20230403
コード	4～5桁の銘柄コードとなります。	8511
銘柄名	銘柄名称（略称）となります。	日証金
市場区分	取引市場名となります。 ※「東証」については、PTS 市場分を合算した貸株超過株数に対して品貸料率を決定する仕組みとなっておりますので「東証」で決定した品貸料率が PTS 市場分にも適用されます。	東証
決算事由	直近の決算基準日の区分（決算／臨時）となります。	決算
決算等	直近の決算基準日となります。	20230930
貸借値段（円）	品貸料率算定の基準となる価格となります。	1000
貸株超過株数 （株・口）	当社が品貸入札により株券調達を行う数量となります。 融資残高に対して貸株残高の数量が多い場合、当社は品貸入札によって貸株超過株数を調達します。	10000
最高料率（円）	品貸入札における入札上限値となります。 品貸入札は、原則として 0 銭から最高料率の範囲で行い、原則として 5 銭（0.05 円）単位で入札を受け付けます。 最高料率は、当該銘柄の投資単位に応じて事前に定められています。	0.05
当日品貸料率 （円）	品貸入札により決定した品貸料率で、制度信用取引のすべての売り方が負担する 1 株あたりのコストとなります。 逆日歩とも呼ばれます。 品貸料率が高ければ高いほど、信用売りにかかるコストが増加するため、売り方の手仕舞いが促され易くなります。 一方、買い方は品貸料率を受け取ることができるため、品貸料率が高ければ高いほど、信用買いを行うインセンティブが向上することとなり、信用取組の改善効果が期待されます。このように、制度信用取引では、すべての売り方からすべての買い方へ品貸料が移転する仕組みにより、信用取引残高の自律調整機能が働くことになっております。	0.05
当日品貸日数	当社における株券の借入・貸出日数です。 通常の場合は 1 日ですが、休日等を挟む場合は複数日となります。	1
前日品貸料率 （円）	前日の品貸料率です。	0.10
備考	満額とは、融資の追加申込を受け付けたことで入札の必要がなくなった銘柄のことであり、品貸料は発生いたしません。	満額
規制	当社では、品貸入札における株券調達状況等を鑑み、新規	注意

	の貸株申込等を制限する措置を実施することがあります。 (注意：注意喚起、停止：申込停止など)	
--	---	--

(2) 『銘柄別融資・貸株残高一覧表』

頻度：毎営業日 11：30 頃

データ形式：CSV ファイル

内容：

項目	内容	例																
申込日	売買約定日となります。	20230401																
コード	4～5桁の銘柄コードとなります。	8511																
銘柄名	銘柄名称（略称）となります。	日証金																
市場区分	取引市場名となります。 ※「東証」については、PTS 市場分を合算した内容となっております。	東証																
融資新規 (株・口)	申込日付で新たに融資申込みされた株数 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>融資残高 (前日)</th> <th>融資残高</th> <th>融資新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証券会社 A</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>証券会社 B</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,000</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>		融資残高 (前日)	融資残高	融資新規	証券会社 A	0	500	500	証券会社 B	1,000	1,000	0	合計	1,000	1,500	500	500
	融資残高 (前日)	融資残高	融資新規															
証券会社 A	0	500	500															
証券会社 B	1,000	1,000	0															
合計	1,000	1,500	500															
融資返済 (株・口)	前日までに申込済の融資申込みについて返済された株数 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>融資残高 (前日)</th> <th>融資残高</th> <th>融資返済</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証券会社 C</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>証券会社 D</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,000</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>		融資残高 (前日)	融資残高	融資返済	証券会社 C	2,000	1,000	1,000	証券会社 D	1,000	1,000	0	合計	3,000	2,000	1,000	1000
	融資残高 (前日)	融資残高	融資返済															
証券会社 C	2,000	1,000	1,000															
証券会社 D	1,000	1,000	0															
合計	3,000	2,000	1,000															
融資残高 (株・口)	貸借取引参加者からの融資申込みの合計 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 上記証券会社 A～D の融資残高の合計	3500																
貸株新規 (株・口)	申込日付で新たに貸株申込みされた株数 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸株残高 (前日)</th> <th>貸株残高</th> <th>貸株新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証券会社 A</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>証券会社 B</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,000</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>		貸株残高 (前日)	貸株残高	貸株新規	証券会社 A	0	1,000	1,000	証券会社 B	1,000	1,000	0	合計	1,000	2,000	1,000	1000
	貸株残高 (前日)	貸株残高	貸株新規															
証券会社 A	0	1,000	1,000															
証券会社 B	1,000	1,000	0															
合計	1,000	2,000	1,000															
貸株返済 (株・口)	前日までに申込済の貸株申込みについて返済された株数 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸株残高 (前日)</th> <th>貸株残高</th> <th>貸株返済</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証券会社 C</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>証券会社 D</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,000</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>		貸株残高 (前日)	貸株残高	貸株返済	証券会社 C	2,000	1,000	1,000	証券会社 D	1,000	1,000	0	合計	3,000	2,000	1,000	1000
	貸株残高 (前日)	貸株残高	貸株返済															
証券会社 C	2,000	1,000	1,000															
証券会社 D	1,000	1,000	0															
合計	3,000	2,000	1,000															

貸株残高 (株・口)	貸借取引参加者からの貸株申込みの合計 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 上記証券会社 A~D の貸株残高の合計	4000
差引残高 (株・口)	融資残高 - 貸株残高 = 差引残高となり、差引残高がマイナスの状態を「貸株超過」といい、品貸入札の対象となります。 (例) 数値の算出ロジックのイメージは以下のとおり。 融資残高 (3,500) - 貸株残高 (4,000) = -500	-500

(3) 『貸借銘柄等一覧』

頻度：毎営業日 9：00 頃

データ形式：CSV ファイル

内容：

項目	内容	例
貸借申込日	売買約定日	20230401
コード	4~5 桁の証券コード	8511
銘柄名	銘柄名称 (略称)	日証金
貸借銘柄区分 (東証)	貸借銘柄：1、貸借融資銘柄：2、非貸借銘柄：0 貸借銘柄については制度信用買い、売り共に可能、 貸借融資銘柄については制度信用買いのみ可能、 非貸借銘柄については、制度信用取引はご利用いただけません。	1
貸借銘柄区分 (CXJ)	"	1
貸借銘柄区分 (JNX)	"	1
貸借銘柄区分 (ODX)	"	1
貸借銘柄区分 (名証)	"	2
貸借銘柄区分 (福証)	"	0
貸借銘柄区分 (札証)	"	0

<情報ベンダーからの情報取得>

- ・ 当社は、貸借取引情報サイト以外にも、情報ベンダー各社へ同様の情報を提供しており、情報ベンダー各社から貸借取引情報（ヒストリカルデータを含む。）を取得することが可能となっております。
- ・ 情報ベンダーから情報を取得するには、各社との契約が必要となる場合がございますので、詳細につきましては、各社までお問合せください。

情報提供先の例：Bloomberg、QUICK、時事通信社、リフィニティブジャパン等

以 上

<本件についてのお問い合わせ先>

日本証券金融株式会社 貸借取引部

Email : mldst@jsf.co.jp